

## 言語コミュニケーション科目の履修に関するお知らせ

SFC(湘南藤沢キャンパス)では外国語科目を履修するにあたり「言語コミュニケーション科目」という枠組みの中で、本当に「使い物になる」高いレベルまで学ぶことができる仕組みを用意しています。SFC に入学した以上、自主的にそして本格的に外国語を習得し、異文化に対して開かれた知性の持ち主に成長していってほしいというのが SFC の考え方です。このキャンパスの言語教育は先進的です。大いに活用してください。

**[言語ガイダンス]** 2025 年 9 月 16 日(火) 実施形態:オンライン(詳細は新入生お知らせシステムで案内します。)

Web サイト(<https://language.sfc.keio.ac.jp/>)を閲覧し、言語コミュニケーション科目について調べてみてください。履修する言語コミュニケーション科目は、在学中にどのような言語を身につけて研究(卒業プロジェクト)に活かしたいか、そして卒業後の進路も見据えたうえで選択すると良いでしょう。

**【総合政策学部・環境情報学部共通 第 3 学年への進級要件 ※一部抜粋】**

言語コミュニケーション科目から 8 単位以上修得すること。(ただし、いずれかの語種で 4 単位以上取得すること)

\*イタリア語、ロシア語は含まない。

### [言語コミュニケーション科目の履修形態]

**マレー・インドネシア語 アラビア語 スペイン語 朝鮮語 ドイツ語 フランス語 中国語**

初習者向けに「インテンシブ 1」と「ベーシック 1」を開講しています。既習の言語がある場合、後述の資格認定試験に合格すれば、自身のレベルに合った科目を履修することが可能です(他の必修科目時間割と重複がない場合のみ)。

**【インテンシブ】** 週 4 コマ(4 単位)の集中授業で進める効果の高いコースです。

**【ベーシック】** 週 2 コマ(2 単位)で基礎を固めていくコースです。

**英語** TOEFL スコアによって履修可能な英語の科目とレベルが決定します。

**【プロジェクト英語】** 対象レベル(TOEFL-ITP スコア):A(450~490), B(471~535), C(516 以上)

Reading, Writing, Project, Presentation などの英語運用能力をつけるコースと、それら運用能力を総合的に身につけて取り組むコースが TOEFL-ITP のスコアによって 3 つのレベルで開講されています。週に 1 コマ(2 単位)で、1 学期に 2 コマ(4 単位)まで履修できます。TOEFL-ITP のスコアが 449 以下の場合は、「英語インテンシブ 1」のクラスになります。

**【英語インテンシブ 1】** TOEFL-ITP スコア:449 以下

一学期間集中的に英語のコミュニケーション能力、英語の足腰となる運用能力を養成する科目です。週に 2 回、1 回 2 コマ連続(4 単位)の授業で 1 学期間完結の基礎力集中強化コースです。

### 日本語

留学生・帰国生対象。「日本語レベル確認テスト」については「資格認定試験・日本語レベル確認テスト」を確認してください。

- 入学後 1 学期目に履修できる言語は英語を含めた 9 言語のうち 1 言語のみです。
- 2 学期目以降の言語の履修については、1 学期目と異なる言語や複数の言語を履修することも可能です。

**[履修言語クラスの発表]** 2025 年 9 月 19 日(金) 22:00 (予定) 「新入生お知らせシステム」にて

履修希望言語の申請内容と、TOEFL スコア(英語を履修希望の場合)、日本語レベル確認テストの結果(日本語履修希望の場合)をもとに、入学 1 学期目に履修する言語クラスを発表します。なお、決定したクラスの変更は認められません。

**AO 入試 9 月入学生**で、入学 1 学期目に英語の履修を希望する場合は、9 月 16 日(火)までに TOEFL スコアのコピーを SFC 学生担当(学事グループ)(sfc-gakuchi-gkb@sfc.keio.ac.jp)へメールで提出してください。スコアの提出がない場合、英語の履修はできません。

**慶應義塾 NY 学院・グローバル入試生**は、出願時・在学時の TOEFL スコアが登録されるため、提出不要です。

- 入試形態に関わらず、9 月新入生は 2026 年 3 月 26 日(木)実施の TOEFL-ITP を無料で受験できます。詳細は別紙「2025 年度秋学期 TOEFL-ITP 試験実施について」を確認してください。

### [資格認定試験・日本語レベル確認テスト]

すでに一定の言語能力がある既習者を対象とした資格認定試験(日本語はレベル確認テスト)を実施しています。資格認定試験に合格することによって相応のレベルから履修することができます。なお、履修できる科目は言語によって異なります。試験日程などの詳細は、新入生お知らせシステムでご案内します。